

製品名: ROCK1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21502**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:158kD;Observed MW:158kD

抗原情報

遺伝子名	ROCK1
別名	ROCK1;Rho-associated protein kinase 1;Renal carcinoma antigen NY-REN-35;Rho-associated;coiled-coil-containing protein kinase 1;Rho-associated, coiled-coil-containing protein kinase I;ROCK-I;p160 ROCK-1;p160ROCK
遺伝子 ID	6093.0
SwissProt ID	Q13464
免疫原	ヒト ROCK1 の合成ペプチド

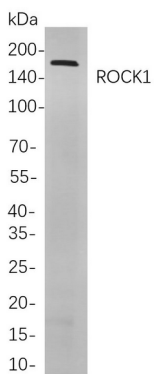
背景

細胞局在: 細胞質、膜。この遺伝子は、GTP 結合型 Rho に結合すると活性化するタンパク質セリン / スレオニンキナーゼをコードする。低分子 GTPase である Rho は、不活性型の GDP 結合型と活性型の GTP 結合型の間を往復することで、線維芽細胞の接着斑とストレスファイバーの形成、ならびに血小板とリンパ球の接着と凝集を制御する。Rho は細胞質分裂にも必須であり、血清応答因子による転写活性化にも関与する。Rho の下流エフェクターであるこのタンパク質は、LIM キナーゼをリン酸化して活性化し、LIM キナーゼはコフィリンをリン酸化してアクチン脱重合活性を阻害する。この遺伝子に関連する偽遺伝子も 18 番染色体に存在する。
[RefSeq 提供、2015 年 8 月]

研究分野

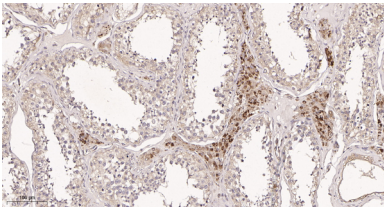
-

画像データ



C6 細胞ライセートのウェスタンブロット解析

ROCK1 ウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト精巣組織の免疫組織化学分析。1、ROCK1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。